

令和8年度 DX人材育成 地域課題解決プログラム実施業務 審査基準

審査項目		審査基準	配点
業務遂行能力	(1) 業務理解度	本業務の目的、趣旨を十分理解した提案を行っているか。	5
	(2) 業務実績	同様の業務を実施した実績があり本業務の成果を期待できるか。	5
	(3) 実施手順	業務のスケジュール、手順は適切であるか。	5
	(4) 実施体制	業務内容を実現するための適正な実施体制が具体的に示されているか。	5
企画提案内容	(1) 業務の実施準備	<ul style="list-style-type: none"> ・本業務全体を確実にを行うための自社の体制が具体的かつ明確に示されているか。連携先事業者がある場合、その事業者との役割分担・実施体制が具体的かつ的確に示されているか。 ・調整すべき関係機関等との調整方法が具体的かつ的確に示されているか。 	5
	(2) 座学講義の企画及び実施	<ul style="list-style-type: none"> ・講義のカリキュラムは「IT業界の意義・キャリア観」「情報倫理・論理的思考」「マーケティング思考」を始めとして社会人基礎力を養うことができるものとなっているか。 ・分野に長けており、業務内容に照らして適切な外部講師が選定されているか。 	15
	(3) 課題解決研究の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・IT技術を活用した解決策を考える体験型講座となっているか。 ・フィールドワークを通じて論理的思考力、マーケティング思考、コミュニケーション力を身につけられるものとなっているか。 ・フィールドワーク、成果発表等を組み合わせたプログラムとなっているか。 	15
	(4) 課題解決研究の実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・講師、アドバイザーはIT活用、マーケティング、ファシリテーション等に精通した人材が選定されているか。 ・フィールドワークで地域回遊、現場視察、デジタル活用実験を行う際の安全管理は適切に考えられているか。 	15
	(5) フォローアップの企画及び実施	<ul style="list-style-type: none"> ・座学講義及び課題解決研究で学んだことについて有意義な意見交換ができる計画となっているか。 ・同時期に実施するECサイト構築プログラム及びSalesforce資格取得プログラム終了後に実施する計画となっているか。 	15
	(6) 効果測定	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者に対するアンケート調査等を実施し、本コースの効果を測定できる計画となっているか。 ・効果測定の方法、アンケート調査票、調査方法は適切であり明確化されているか。 	5
経費	経費見積		10
			合計 100

○提案者が2者以上ある場合は、各審査員による合計点が、満点の6割以上の者のうち最も高い点を獲得した者を契約候補者として選定する。

○提案者が1者の場合は、各審査員による合計点が、満点の6割以上で、かつ審査員の合議により認められた者を契約候補者として選定する。

○原則として各項目5段階評価とする。(ただし、業務実績、経費見積を除く。)15点の配点箇所は、5段階評価×3と計算する。

(5 非常に優れている 4 優れている 3 普通 2 劣っている 1 非常に劣っている)

○経費見積は予定価格に対する見積金額の割合で審査を行う。

例：6点(98%<見積金額≤100%) 7点(96%<見積金額≤98%) 8点(94%<見積金額≤96%) 9点(92%<見積金額≤94%)
10点(見積金額≤92%)

○業務実績は、過去3年(令和5年4月1日から令和8年3月31日)までに完了した、国、地方公共団体等から受注した同種・同規模の業務の元請実績を評価する。(0件：0点、1件：1点、2件：2点、3件：3点、4件：4点、5件以上：5点)

○見積価格が委託上限額を上回るものは失格とする。